



イランカラプテ宣言（仮）

2015年に国連総会で「世界津波の日」が制定されたことを機に、翌2016年から毎年「世界津波の日」高校生サミットが開催されてきており、本年、私たち44か国の高校生は、四季折々の表情をもつ自然に恵まれた北海道に集い、時に地震や津波、火山噴火、暴風雪などの災害をもたらす自然の驚異とその対応について学びました。

また、私たちは、自然災害から命を守り、より良い復興に向けて何ができるかなど、真剣な話し合いを通じて互いの心に触れあい、世界各国の「きずな」を深めました。

私たちは、こうした成果を、国や地域を問わず世界各地の高校生に引き継ぎ、自然災害への関心を一層高め、自然災害から命を守るため行動することを決意します。

- 私たちは、過去の災害について知り、自然災害等の現状や原因、防災等について学び、それを広めていきます。
 - ・避難訓練など過去の経験から学ぶことにより、若い世代に対して教育や備えをし、将来の災害に備えます。
 - ・ソーシャルメディア、ワークショップ、ゲーム、専門家からの教えなど、最新の知識を活用することで、災害により備えます。

- 私たちは、災害への意識を高め、災害の種類に応じた自らの安全を確保するための行動ができるよう、日常的な備えを行います。
 - ・自然災害が起きた際に、協力ができる体制をつくります。
 - ・相互理解を深めるため、テクノロジーを駆使し、人々のネットワークを広めます。それにより、災害に対する意識を持続的に高めます。

- 私たちは、安全で安心な社会を共につくっていくため、地域社会の安全活動やより良い復興に向けた取組に進んで参加・協力し、貢献します。
 - ・災害の被害を受けた過去の経験を直に学ぶために、実際に被害を受けた場所を積極的に訪れるよう取り組みます。
 - ・地域との絆を深めるために、地域と学校が協力しあえるプログラムをつくります。
 - ・新旧のメディアを使い、すべての世代に自然災害の情報を発信します。

私たちは、自然の恵みに感謝し、時に災害をもたらす自然の脅威について理解を深めながら、私たちにとってかけがえのない自然を守り、自然災害に備えることを宣言します。

2019年9月11日

「世界津波の日」2019高校生サミット in 北海道

